

みんなの生活 みんなの日比津中学校

集団で快適に生活するには、みんなで決められたルールやマナーを守ることが大切です。ここに書かれていることは、基本的な日比津中学校のルールやマナーです。みんなが意識して生活できるようにしましょう。その他にわからないことがあったら、先生に確認してください。

登下校

- 登校時刻は教室で荷物を整理して8：30に朝の活動が始められるように登校しましょう。
そのためには8：25までに靴箱を通過できるようにしましょう。8：15に西門が開門されます。
- 通学路の指定はありません。可能な限り、大通りを通して登下校しましょう。
- 余裕をもって登校し、ゆとりある1日のスタートにしましょう。
- 仲間や先生に元気よくあいさつをしましょう。
- 地域の一員だということを忘れずに行動しましょう。広がって歩いたり、大きな声を出したり、いつまでも話し込んでいるということがないようにしましょう。登下校時にどこかで遊ぶことなどがないようにしましょう。自宅に帰って着替えてから次の行動をしましょう。
- 交通ルールを守って登校しましょう。自転車での通学は禁止しています。
- 登下校時は、名札をつけないようにしましょう。登校したらすぐにつけ、帰る際には外すように教室の名札ポケットで保管しましょう。
- 欠席・遅刻・早退の際は、朝の活動が始まるまでに保護者の方から連絡をしてもらいましょう。また、遅刻をした際には西門のインターホンを押し、クラスと名前を伝え、鍵を開けてもらいましょう。その後必ず扉は閉め、教室へ行く前に職員室へ寄りましょう。その際に遅刻してきたことを職員室にいる先生に報告しましょう。早退の際も西門を使用します。門を開けたら、必ず閉めましょう。
- スリッパと運動靴を履きわけるようにしましょう。スリッパや運動靴にも名前を記入しておくようにしましょう。スリッパのままで外に出ないようにしましょう。また、ざら板の上に運動靴で乗らないようにしましょう。1階にある牛乳保冷庫前の緑のマットは土足禁止になっています。
- 再登校をする場合は、制服や体操服など学校と同じ格好で歩いて登校します。

持ち物

- デイバック（黒を基調としたリュックサック）に入らない場合はサブバックを使用しましょう。サブバックの色や形・素材は自由です。A4 サイズのプリントが入るようなものが目安となります。式日などはサブバックだけでの登校でも構いません。
- キーホルダーやストラップ等は自分のカバンを認識するために付ける物なので、必要以上に付けるなどの付け方は避けましょう。
- 学習活動に不必要な物は持ってきてはいけません。スマートフォンやマンガ、スプレー式の制汗剤などは不要物となります。使い捨てカイロやペーパー式の制汗剤（香りなし）、クリームタイプの日焼け止め（香りなし）、ハンドクリーム（香りなし）、リップクリーム（色・艶・香りなし）、目薬、くし、手鏡は使用しても構いませんが T.P.O に気をつけて使用しましょう。
- 学習用具は、机の中やロッカーに整理しておきましょう。人が通れるように机のまわりを整理しておきましょう。ハサミやカッターナイフなどは指示がない時は持参しないようにしましょう。
- 集金等で現金を持参したときは、登校後すぐに担当業者の方や先生に渡すなど長時間自分で管理することがないようにしましょう。
- 傘は土間の自分のクラスの傘立てに、傘を閉じて入れましょう。傘にもわかりやすく名前を書きましょう。折り畳み傘やカッパ、日傘を使用しても構いません。
- 水分を飲む際には、マナーを守って飲みましょう。飲料はお茶・水・スポーツドリンクが認められています。水筒ではなく、ペットボトルでも構いません。
- 忘れ物をしないようにしましょう。何か物を忘れたからといって、貸し借りをすることはやめましょう。忘れ物に気付いた場合は、正直に先生に申し出ましょう。特にお弁当を忘れた場合は朝の時点で先生に申し出ましょう。
- 生徒証明書はカバンにしまっておくなど必要がある時に出せるようにしておきましょう。個人でケース等を購入して入れておいても構いません。各自で管理をしましょう。
- 教室のゴミ箱に弁当のゴミやカイロ、マスクなどは入れず、各自持ち帰りましょう。
- 学校で使用するものには、名前を記入しておきましょう。

休み時間

- まずは次の授業の準備をして、トイレを済ませておきましょう。
- 教室や廊下で走ったり、過度に動き回ったりしないように落ち着いて過ごしましょう。
- 時計をよく見て行動し、チャイムが鳴る前に着席し、落ち着いた気持ちで授業に臨みましょう。
- 必要もなく、他の校舎や他の学年の階に行ってはいけません。また、許可なく他の教室へも入らないようにしましょう。
- 昼休みのみ、図書室での読書や運動場に出て遊ぶことができます。目的に応じて利用しましょう。

職員室

- 職員室へ入る際は、荷物を廊下に置き、ノックをした後に扉を開けて「〇年〇組の△△です。●●先生お願いします。」「〇〇部の△△です。◆◆の鍵を取りにきました。」など、所属と名前、用件をはっきりと言いましょう。職員室に入ったら、出入り口付近で先生の指示を待ちましょう。指示があったら一度職員室から出てから先生を待ちましょう。
- 職員室の前は静かに歩きましょう。電話をしていたり、来客対応していたり、大事な会議が行われていたりする場合があるので、必要な時のみ通るようにしましょう。また、お客様や先生方には積極的にあいさつをしましょう。

身なり

- 別紙「身なりの確認をしよう」が基本となるので確認しましょう。
- ジャケットを脱いで、シャツで過ごしても構いません。ただし、必ず名札をつけかえるようにしましょう。また、正装を指定されていない日は学校指定のジャージをその上から着用しても構いません。学校で指定する場面は基本的に式中やテスト中となります。T.P.O.に応じて着こなせるようにしましょう。
- 化粧やピアス、爪への装飾（マニキュアなど）はしないようにしましょう。
- ヘアゴムは質素なものでシュシュやリボン、ヘアバンドは着用を認めていません。

- ミサンガやネックレス、指輪なども装飾品のためつけてこないようにしましょう。ヘアゴムも使用しない場合は手首から外しておきましょう。
- 雨天時には、レインシューズや長靴を使用しても構いません。色の指定等はありません。
- 登下校や体育の授業時には帽子を着用しても構いません。帽子は日除けができるもので色や形は自由です。

《**防寒具**》通年使用しても構いません。着こなし方などの説明は秋頃に詳しくします。

- マフラー、ネックウォーマー、手袋は指定の色はありません。
- シャツ、インナー、セーター類、コート類は白、黒、紺、茶、グレー、ベージュ色の無地のものを着用しましょう。(ワンポイント可)
- タイツやニーハイソックスなどは白、黒、紺、茶、グレー、ベージュ色のものを着用しましょう。足首までのタイプのタイツは肌が見えないように、ベージュのストッキングの場合は靴下をはきましょう。(ワンポイント可)
- カイロは貼るタイプでも構いません。
- ニット帽、イヤーマフ、ブランケット、レッグウォーマー等は認めていません。

その他

- 一昨年度より体育館シューズの色を全学年共通で黄色の指定のシューズとしています。シューズ袋は学年色（1年：青、2年：赤、3年：緑）のものになります。また、新体育館シューズへの移行期間は3年間を目途としています。それまでの間は、お下がり等や今まで通り、旧体育館シューズを学年色問わず使用しても構いません。
- 今年度当初の変更点はニーハイソックスとタイツが靴下のルールと同様にしたことになります。防寒具の欄に詳細は記載してあります。

※ 何か事情がある場合は先生に相談してください。

（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）